



チェーンソー講習

SPFの研修について詳しくは、ホームページをご覧ください。



重機講習

楽しく防災を学ぶ取り組みも
SPFは地域の防災意識の向上にも取り組んでいます。2022年には大町町に災害支援拠点「ソレイユ」と日本レスキュー協会佐賀県支部「モアワン」が完成。地域の方々と連携してチェーンソーなどの講習会や近所の危険箇所をチェックするまち歩きなどの研修が行われていて、誰でも参加することができます。「楽しみながら防災意識を高めた」という思いから、カヌー体験などの研修も開催しています。防災を学ぶだけでなく、人々の交流の場になるような施設を目指しています」と語る山田さん。
自然災害は私たちの予想をはるかに超えた被害をもたらすことがあります。みなさんも家族や友人と防災について話してみませんか。



カヌーで楽しく防災を意識!



特集

日々の暮らしや遊びの中から 防災につなげる

自然災害はいつ起こるかわかりません。

これから雨の季節を迎える今、

身近なところから始められる防災について、被災地支援のスペシャリストにお話を伺いました。

自然の中で生きる知識を身につける防災キャンプ

3日分の水や食料 携帯トイレなどを備えよう!

見なれているまちでも 防災の視点で歩いてみると、災害時に危険な場所が分かります



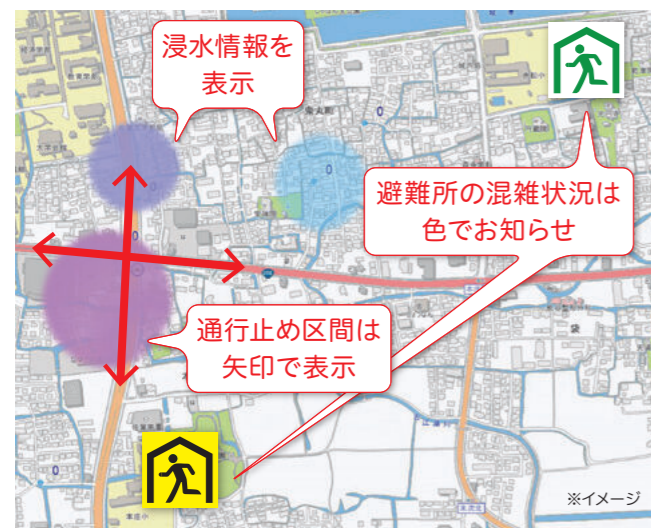
※一例です

TOPICS

使いこなそう! 防災ネットあんあんアプリ

安全で安心な暮らしのために各種防災情報や防犯情報などを配信する佐賀県のアプリ。配信される情報は目的に合わせて選べます。

アプリのダウンロードはコチラから



浸水情報を表示

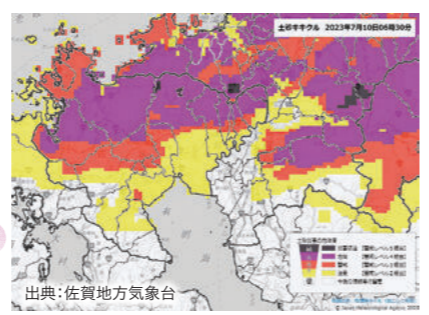
避難所の混雑状況は色でお知らせ

通行止め区間は矢印で表示

「佐賀県防災・緊急マップ」で近くの災害状況もらくらくチェック!



「キキクル」はリアルタイムで土砂災害・浸水害・洪水の危険度が表示されます。



出典:佐賀地方気象台

マップ上の「カメラ」マークからリアルタイムで道路の浸水状況を映像で確認できます!



※イメージ

避難の判断材料として活用ください

大事なのは人とのつながり
近年、大町町や武雄市で豪雨災害が発生したときに現場で先頭につれて被災地支援を行った一般社団法人佐賀災害支援プラットフォーム(SPF)は、東日本大震災のボランティアに参加したメンバーで結成された災害中間支援組織です。
SPFで共同代表を務める山田健一郎さんに日常的な防災対策をきくと「3日分の水や食料、携帯トイレなどの備蓄や、ハザードマップや避難ルートの確認などがあります。が、何よりも地域の人とのつながりを大切にすること」という返事がかえってききました。
「もし災害が起こったとき、近所に住むおばあちゃんの家に行つて声をかけ、一緒に逃げるのができますか?そのような命を守る行動が咄嗟にできる関係性を築いておくことが大切です。また家庭では、災害時にどう動くかなど、防災について話すだけでも意識は高まると思います」と防災は特別なものではなく、もつと日常的なものになってほしいと山田さんは話します。
非常時のためのハザードマップの確認!



避難ルートもチェック



取材協力
一般社団法人 佐賀災害支援プラットフォーム 共同代表
やまだ けんいちろう
山田 健一郎さん

お問い合わせ 危機管理防災課 ☎0952(25)7140